

# 「環境コミュニケーションティーチング」の 社会実装のための人材育成と 効果測定プロジェクト

〒600-8445  
京都府京都市下京区岩戸山町440  
江村ビル2F  
電話:075-276-5779  
E-mail:info@fringe-tp.net  
http://www.fringe-tp.net/index.html



ひろげる助成  
**3年目**  
知識の提供・普及啓発



水の精と真庭族を演じる香川の小学校の生徒

環境CTの育成	4人
効果測定アンケートの実施	95人
今年度計画の達成度	75%
活動の全体目標に対する達成度	80%

## 苦労した点と工夫した点



### ■ 苦労した点

各地域におけるファシリテーターの少なさを実感した。プログラムを実施していく講師の育成だけでなく、地域での実装を進めていくコーディネーターの育成も必要であった。

### ■ 工夫した点

一昨年に環境CTとして認定した人物に、今年度の育成プログラムのOJTに参加をしてもらい、今年度の受講者との交流を図り、より質の高い育成プログラムを実現した。

### 課題

演劇ワークショップの手法を用いた環境教育である「環境コミュニケーションティーチング」の実施を希望する団体や地域があるにも関わらず実施できない場合がある。

### 目標

「環境コミュニケーションティーチング」を実施できる講師を全国各地で育成し、プログラムの安定供給のための政策化を目指す。

### 活動内容と成果

●香川県と石川県で環境コミュニケーションティーチャー (CT) 育成プログラムを実施。受講者のOJTとして、それぞれの地域で小学生を対象に環境演劇ワークショップを実施した。2地域で計4名の環境CTを育成した。

●ワークショップ(WS)の際に参加者である生徒と保護者を対象とした効果測定アンケートを実施。その集計結果を元に論文を執筆、日本教育工学会に投稿をした。

### 全助成期間の活動を振り返って

児童や保護者へのアンケートの結果から、環境演劇WSの実施によって児童の環境問題に対する関心や学習意欲が向上することがわかった。また、「学習したことを他の人に話したい」という質問項目において児童・保護者ともにポジティブな回答が得られたことから、個人の意識変容に留まらず、それを伝播させていくことが期待される。

今後は、政策提言を行っていくとともに、各地域を拠点としたプログラム実施体制の構築を目指したい。



育成プログラム環境教育実習の様子



とびとびの木を演じる石川県の児童

### 今後の展望

全国を8エリア(北海道、東北、北陸、関東、中部、近畿、中四国、九州沖縄)に分け、各地域に人材育成の拠点を置く。地域の環境問題の実情に対応した学習プログラムを開発・提供をする他、環境コミュニケーションティーチングの実施フィールドや地域に存在する環境CTの情報を地域拠点に集積させる。また、各エリアの大学と民間団体の連携機関を設立し、エリア拠点としての機能を各地で自走させる体制の構築を目指す。